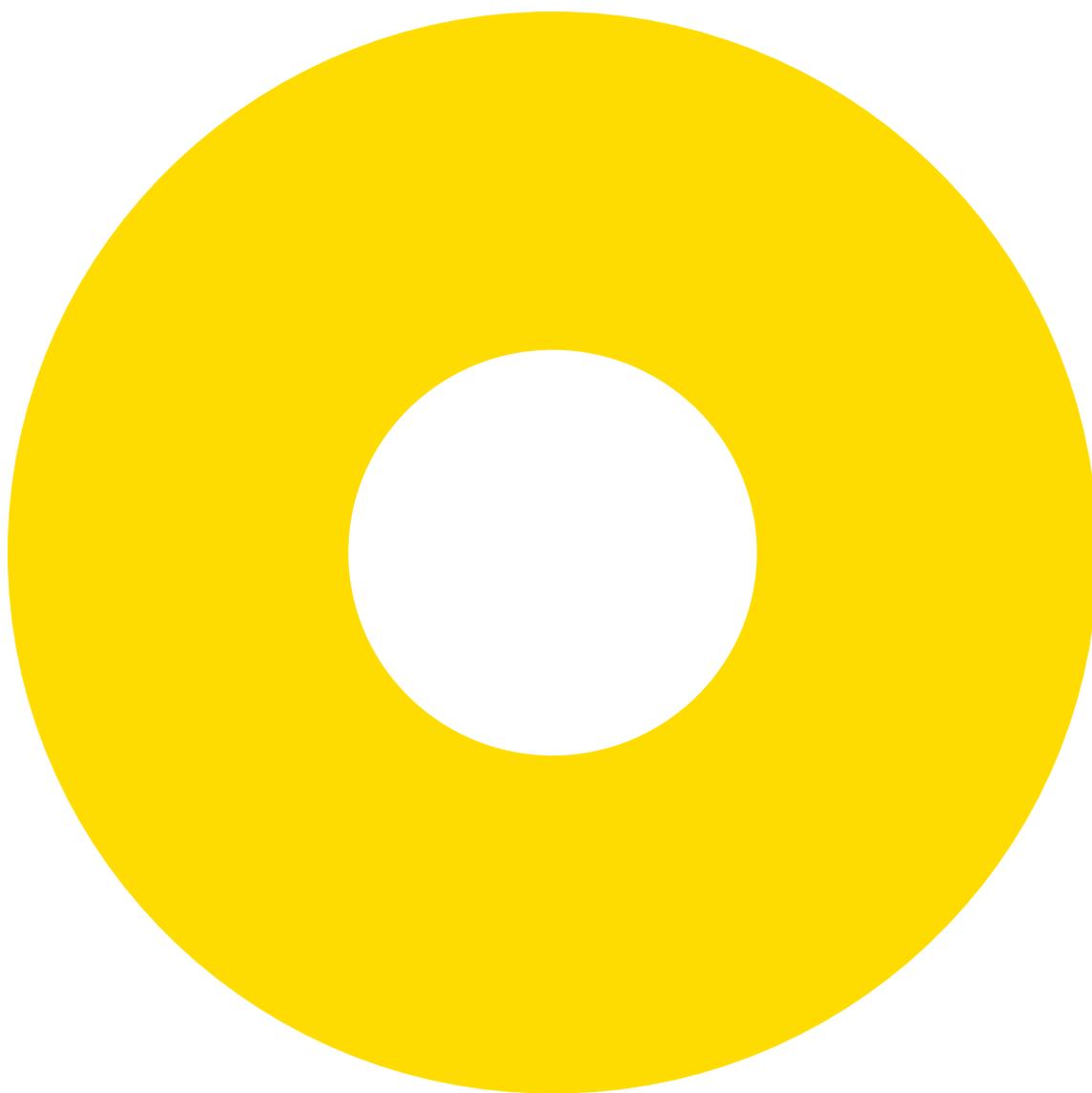


# **GOLDWIN**

## **CSR REPORT**



ゴールドウィンCSRレポート 2009

この報告書は2008年度(2008年4月1日から2009年3月31日)の活動を中心に、一部直近の活動を含みます。

# トップメッセージ

## ■ ゴールドウィンが果たすべき責任

「人々の暮らしをもっと楽しく、健康的に。ゴールドウィンは、スポーツフルなライフスタイルを創造し、提供していきます。」という企業理念のもと、私たちはスポーツを通して豊かな健康社会を実現することを使命としています。こうした企業としての社会的使命に共感していただけるすべてのステークホルダーの信頼を高める観点から、CSR（企業の社会的責任）を経営上の重要課題と位置づけ、継続的な企業価値向上と、迅速かつ的確な意思決定に基づく効率性、透明性、健全性の高い経営体制の確立に取り組んでいます。その考えは行動指針「強い、速い、きれいな経営」として、全ての役職員に徹底しています。

振り返って、2008年は激動な一年でした。ゴールドウィングループはこの激しい経済危機のさなか、グループを取り巻くステークホルダーの皆様方の支援により、何とか黒字化を実現することができました。私たちはこの結果に満足することなく、更なる技術開発やグローバルな人材育成を推し進めることで、未来に向けて健全で、明るく楽しい社会に貢献できる企業へと成長していきたいと考えています。

ゴールドウィングループでは昨年「企業行動規範」を改訂し、社会から求められている様々な要望に適切に応えられる仕組み作りに着手いたしました。特に「お客様からの信頼」を重点課題とし、コンプライアンス、公正な取引と適切な情報の開示、環境への取組みや人材育成・雇用創出などに加え、スポーツ文化を未来永劫に受け継いでもらう為に、子どもたちのスポーツ環境の整備をサポートしてまいりました。今後ともスポーツを通して「身体の健康・心の健康」をサポートし、スポーツを行う楽しさ、スポーツを通してのコミュニケーションや健康づくりなど健康で健全な社会作りにも貢献していきます。

この度、ゴールドウィングループの全ての役職員が地道に活動しております一部を紹介する運びとなりました。今後とも、より一層のご支援、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

株式会社 ゴールドウィン

代表取締役社長 西田明男



# ゴールドウインのCSR基本方針

ゴールドウインの企業理念実現に向け、  
CSR方針を制定しています。

企業活動を通じてお客様の満足と信頼を得るために、社員全員で高品質の物づくり・サービスを追求する。さらに、企業統治・リスクマネジメント体制の充実を図ると同時に、企業倫理の実践、環境保全活動へ積極的に取り組み、そして独自の社会貢献活動を通じて社会で最も信頼される会社を目指す。

## 私たちの使命

頂点を極められるギアを提供しているスポーツアパレルメーカーとして  
スポーツ各分野において最高機能の商品を開発していきます。

### スポーツを通して次世代育成

次世代の子どもたちにスポーツの楽しさを伝えていきます。

### 健康

スポーツを通して心と身体の健康を応援していきます。

### 地球環境

持続可能な社会の発展に貢献していきます。

### 全員参加での取組み

優れた商品は優れた社員から生まれるとの理念のもと事業運営を進めていきます。

# ゴールドウインのCSRハイライト1

## ■ 次世代を育成する活動の積極的支援に取り組んでいます

競争や余暇にとどまることなく、健康や環境といった現代のニーズに人々が真摯に向き合うことのできるのがスポーツです。ゴールドウインは、スポーツを通じて子供たちの健全な育成に貢献しております。

### MIPスポーツ・プロジェクト

ゴールドウインは、スポーツを通じて青少年の健全育成を図ることをミッションとするNPO組織「MIPスポーツ・プロジェクト」のスポーツゲームズを2002年より支援しています。2008年度に全国で21回開催されたプログラムは、トップアスリートが講師となり、子どもたちが様々なスポーツを体験することができます。子どもたちがスポーツを楽しむ事で、新たなスポーツへの可能性を広げ、将来のスポーツライフをより豊かにするきっかけとなっています。ゴールドウインでは、イベントのスタッフと参加者全員のユニフォームの提供など、このプロジェクトを積極的に支援しています。

- MIPとは  
<http://www.mip-sports.com/>
- スポーツゲームズ詳細  
<http://www.mip-sports.com/mip.php?sportsgames/index.html>



#### 担当者より：アスレチックスタイル事業本部 佐藤訓之



スポーツゲームズは、子どもたちやその保護者たちが今後とも継続的にスポーツ活動に親しむ機会を増やすことになり、各都道府県の地域スポーツ行政から高く評価されていて、長く続けてきて良かったと思っています。皆様もお近くでの開催には是非参加してください。会場でお会いしましょう。

# ゴールドウインのCSRハイライト1

## ナスターレース

ゴールドウインは、20年以上にわたりナスターレース協会を支援しています。

ナスターレース協会は、チルドレンレーサーや一般スキーヤーにナスターレースシステムを導入したポールを使用したレースの面白さを感じてもらい、レベルアップの目標にさせていただくことで、ウィンタースポーツの広がりとおもしろさを知る機会を広めています。

また、小中学生を対象として「ゴールドウインナスターレースチルドレン/キッズジャパンカップ」を10年にわたり実施し、上位入賞者をFISチルドレンレースである「ウィスラーカップ（開催地：カナダ・ウィスラー）」へ派遣しています。派遣選手らは日本の代表として、日の丸をつけたゴールドウインのワンピースとチームウェアで大会に臨んでいます。今年のウィスラーカップ（2009年4月10から12日）でも10名が派遣され、各国のチルドレンレーサーをしのぎ優勝するなど世界を相手に大健闘を果たしました。

- ナスターレース協会とは  
<http://www.nastar-r.com/>



### 担当者より：アクティブスタイル事業本部 歸山聡夫



ナスターレース協会とはウィンタースポーツの振興と子どもの健全育成という共通の目的で長い付き合いをしています。今年もウィスラーカップに派遣した日本チームは大健闘いたしました。各選手がウィスラーカップ参戦を期に一層の向上心を持ち、世界に目標を定めるといった意味でも、また競技以外の文化的交流などが経験できた意味においても大変貴重なよい経験となったことと思います。スキーに限らずスポーツ全般において低年齢層に対しての様々なプログラム等をメーカーや協会、連盟がサポートを行うことは社会的に大変重要な役割だと考えています。

## ゴールドウインのCSRハイライト2

■ 循環型社会のために商品のリサイクルに取り組んでいます。

### 循環型リサイクルシステム開始

ゴールドウインではポリエステル製品を回収、再原料化する循環型リサイクル・システムの取り組みを開始いたしました。

このシステムは、お客様が購入された商品を回収して原料に再生し、新たな商品に生まれ変わらせる仕組みです。この取り組みを通じて、限りある資源とエネルギーを循環して使用し、CO2削減にも寄与、地球環境の保全を企業活動と消費行動の流れの中で実現できると考えています。

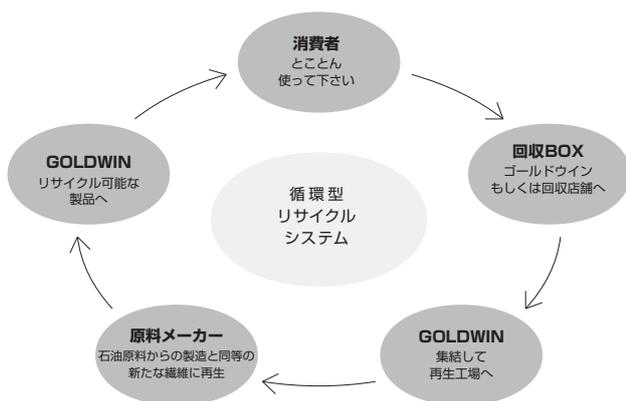
また、数多くのブランドを持ち、幅広い層の顧客をターゲットとするゴールドウインが、このようなシステムを拡大させることにより、これまで以上に多くの企業や一般消費者の方々に興味を持っていただき、さらに大きな資源の循環につながることを期待しています。今後は、回収対象をナイロン等へ広げ、製品の充実を図っていきます。



該当商品にはこのマークの吊札が付いています



循環型リサイクル・システム対象商品例



- 循環型リサイクルシステム ウェブサイト  
<http://www.goldwin.co.jp/recycle/>

## ゴールドウインのCSRハイライト3

ゴールドウインでは、ブランドごとに各々のコンセプトに沿った活動で社会貢献に取り組んでいます。

### 水辺の環境保護を支援するH2Oプロジェクト®

ヘリーハンセンでは、H2Oプロジェクト® のメインイベントとして、2005年7月18日(海の日)の第一回を皮切りに、これまでに12回のビーチクリーンイベントを行ってきました。各回とも海岸でのごみ拾い活動のほか、海の環境問題に関するワークショップや参加記念品の配布、プレゼント抽選会など内容も盛りだくさん。一般の方やチームHHのアスリートなど、毎回100人を越える方々にご参加いただいています。



### POWWOW-aeaa Earth Kids Project (パウアウーアエアア アース・キッズ・プロジェクト)

ザ・ノース・フェイスでは美しい地球を未来の子ども達へつないでいくことを願いPOWWOW-aeaa Earth Kids Project (パウアウーアエアア アース・キッズ・プロジェクト)を開始しました。POWWOWはネイティブアメリカンのドラムや歌、踊りの儀式であるお祭りを意味し、aeaaはasia (アジア) – europe (ヨーロッパ) – africa (アフリカ) – america (アメリカ) 大陸を表します。このプロジェクトでは、子ども達だけでなく大人やお年寄りも一緒に、artを通してearthとつながり、共に手を取り地球のことを考え、表現し、点と点をつなぐムーブメントをつくっていきます。2009年春夏シーズンにデビューした7nature usagiコレクションは、利益の5%が「KIDS EARTH FUND」に寄付され、世界の子どものために活かされます。



### スペシャルオリンピックス支援

ゴールドウインでは、スペシャルオリンピックスに特別協賛しています。スペシャルオリンピックスとは、知的発達障害のある方々に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織です。ゴールドウインでは2004年からスペシャルオリンピックスへの協賛を行っており、2005年2月の長野大会に続き2009年も「スペシャルオリンピックス冬期世界大会」へユニフォームを提供しました。



## お客様とともに ―顧客満足と品質管理の体制

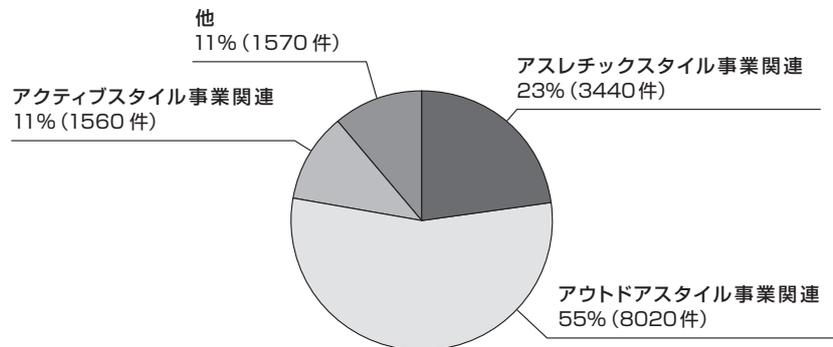
ゴールドウインでは、企業行動規範に「製品・サービスの提供にあたり、安全性と品質の管理のために、開発から販売、消費にいたる全てのプロセスにおいて、守るべき基準・手順を明確に定め、品質・安全性管理体制を構築し、不具合が発見された場合には適切かつ迅速な対応をします。」と定めています。また、CSR方針に「全員参加」とあるように、社員一人ひとりがお客様の窓口と考え、お客様の満足を得られるよう行動しています。

### ■ お客様の声と品質マネジメント

電話や手紙でカスタマーサービスセンターに寄せられたお客様の声は、関係部門と連携を取りながら迅速に回答され、品質とサービス向上に役立てられます。製品についての貴重なご意見及びクレームは、各事業部やブランドごとではなく品質保証部に一括して集約、調査回答しています。全社一括してまとめられた重要情報は、原因の究明、再発防止策の検討の後、関係各部門にフィードバックされ商品やシステムの改善を図っています。

品質保証部は、営業・企画・開発部門からは独立した組織として、お客様の声に的確に応えるとともに、製品の品質向上に適切に活かされる管理体制をとっています。

カスタマーサービスセンターへの相談内容、問合わせ



### ■ 品質会議とリコール権限

商品の不具合については、企画設計段階からお客様にお届けするまで、細心の注意を払い厳しく検査しています。お客様からの直接または小売店様を通じて入った不具合の情報は、マニュアルに従って調査され品質会議にて検討されます。

万一品質・安全性に不具合が発見された場合は、迅速に対応するシステムになっています。リコール判断の権限は、ブランド責任者ではなく、全社の品質を横断的に見ている品質保証部長にあたえています。リコール情報は、[お客様へ重要なお知らせ]としてホームページにて開示しています。

品質会議は、お客様満足の向上のため、品質情報（クレームや不良品情報）の共有を図り、商品の品質・安全性を向上させるために定期的に行っています。

### ■ 修理体制について

ゴールドウインでは、ザ・ノース・フェイスの商品を扱い始めた30年前から「WARRANTY(保証)」制度のもと、修理制度を本格的にはじめました。その制度は、「もし素材や製造上の欠陥が原因であれば、代金は一切いただきません。その他の場合は、適正な価格で修理いたします」を徹底したものでした。この制度は、現在では、ザ・ノース・フェイスなどアウトドアに限らず、モーターサイクルウェア、スキーウェアなども対象になります。

(修理の相談は、ゴールドウイン・カスタマーサービスセンター [0120-307-560/03-3481-7266] まで)



#### TOPICS : 富山の修理体制『北日本新聞(2009年1月9日付)』より

ゴールドウインは、アウトドアブランド「ザ・ノース・フェイス」の修理部門を強化している。環境問題への関心の高まりや景気後退による買い控えで、商品の使用期間が長期化し、修理依頼が急増していることが要因。今冬はこれまでで最多の6人体制で対応している。修理部門は30年前に設置。依頼は平成16年には年間3500件程度だったが、その後年々増え、20年は前年比13%増の6800件と4年間で約2倍に増えた。持ち込まれるのは、レインウェアやダウンジャケットの破れ修理が多く、中には20年前に販売した商品もあると

いう。同社は環境問題への関心の高まりとともに、消費者の意識が、使い捨てから、良質の商品を長く使う方向へと変わってきていると分析。また昨年12月は1ヵ月で700件の注文が集中したことなどから、景気後退による買い控えも影響しているとみて、人員も昨冬より1人多い6人を配置した。ザ・ノース・フェイスは同社の主力ブランドで、充実したサービスがファン獲得につながるとみており、今後も受注状況に合わせて増員を検討していく。

## ■ 全員参加でコンプライアンス徹底

### 1. コーポレート・ガバナンス

ゴールドウインは、監査役及び監査役会設置会社を採用しています。監査役は社外監査役3名を含む4人であり、定期的に監査役会を開催するとともに、取締役会及びその他の社内の重要な会議に出席するほか、必要に応じて役員に報告を求め、取締役の役職執行に関して厳正な監査を実行しています。

取締役会では、経営体質の強化を図るとともに、経営環境の変化に迅速に対応できる経営体質を構築及び各年度における経営責任を一層明確にするため取締役の

任期を一年としています。取締役会は月一回の定期取締役会の他、案件の重要度を考慮し、必要に応じて臨時取締役会を開催しております。

また、CSR推進委員会を設置し、グループ全体にわたって有効な内部統制システムを構築、かつ継続的な改善を図っています。またコンプライアンスの基軸として「企業行動規範」を定め、随時その見直しと周知・徹底をしています。

### 2. リスクマネジメント

ゴールドウインは、経営課題に内在する様々なリスクに対応するため、各種の社内委員会を設定し、リスク管理、コーポレート・ガバナンスの充実に努めています。また、企業価値に影響を与える広範なリスクのうち、経営戦略

に関する意思決定など経営判断に関するリスクについては、必要に応じて法律事務所などの外部の専門家の助言を受け、関係部門において分析・検討をしています。

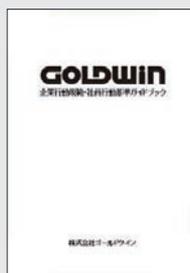
### 3. 内部通報制度（企業倫理ホットライン）

ゴールドウインでは、従業員が職場における執行に関し不正の行為、法令等違反や企業倫理違反、またはそれらの疑義行為について相談・通報を受ける窓口を設置しています。相談窓口は、社内と社外（顧問弁護士）があり、

顧問弁護士に相談する場合は匿名でも可能です。いずれも相談者が不利益を被らないように、社内規定にて保護されています。この制度は、携帯カードを配布し、グループ内に徹底しています。

#### TOPICS：（新）企業行動規範・社員行動規準ガイドブックを配布

社会と共存していく上で、また高い倫理性を備えた企業として認知されることが、ひいてはブランド価値や企業イメージに良い影響を与えることと確信しています。昨年度（2008年度）「行動規範」「行動基準」を改定し、社内の理解を深めるためにグループ全社の研修会を実施するとともに「行動規範」「行動基準」をガイドブックにまとめ全役員に配布しました。



## 地球環境とともに ―環境優良企業を目指して

水が本当に汚れてしまえば、泳げません。大気がひどく汚染されてしまえば、走れません。スポーツは、健康な自然環境があつてこそ。ゴールドウインはスポーツアパレル企業として、スポーツに密接に結びついた地球環境に対して真摯に向き合いたいと考えています。「地球は、スポーツを楽しめる惑星」このフレーズを決して過去形にしないために、ゴールドウインでは21世紀の環境優良企業を目指しいくつかの施策を試みています。

### ■ 環境基本理念

私たちには、自然と共存し調和ある繁栄を実現する崇高な使命が与えられています。

ゴールドウイングループは、スポーツウエアをはじめ各種機能ウエアの企画、製造、販売を通じて環境負荷の低減を目指すとともに、健康総合企業として地球環境にやさしい商品の提供により環境への有益な影響を増進するなど、地球環境保護への姿勢を以下の環境方針に定めます。

### ■ 環境方針

1. 事業活動又は保有する設備が適用を受ける環境に関する法律、規則及びその他要求事項を遵守するとともに、可能な限り自主基準を設定し、環境の汚染予防と保全に努めます。
2. 事業活動が環境に与える有害な影響を認識し、全社員参加によりその影響を低減し、緑の地球を守ります。
3. 環境影響を改善するための目的・目標の設定、及び見直しを実施し、継続的な改善活動を実施します。
4. エネルギー及び資源の使用量・排出量を十分に認識し、限りある地球資源の有効利用、産業廃棄物の削減を実施します。
5. 持てる経営資源を結集して独自の技術を開発し、人の健康と環境にやさしい商品の開発を推進します。
6. 自然と生き物が健康体でありつづけるために、自然環境に調和し、地域社会と共存できる企業であり続けます。

### ■ ISO 認証取得

ゴールドウインは、スポーツアパレル業界で初めて富山工場で1998年10月にはISO9001、1999年11月にはISO14001の認証を取得しました。そして2006年2月には環境保全活動と環境配慮商品開発の取り組みに加え、資源の無駄をなくし事業効率を上げる経済的な価値増大の両立を目指す目的で、ゴールドウイン全事業所と染色センターでISO14001の認証を取得しました。経営方針のひとつである「きれいな経営」を実践し、売上活動、雇用という経済活動だけでなく、環境に配慮した商品、活動、サービスでも社会に貢献します。

# 地球環境とともに — 環境優良企業を目指して

## ECOLOGY、RECYCLE、HEALTH & SPORTS

ゴールドウインでは、3つのテーマに沿って私たちに何が出来るのかを具体的に検討していきたいと考えています。

### ECOLOGY

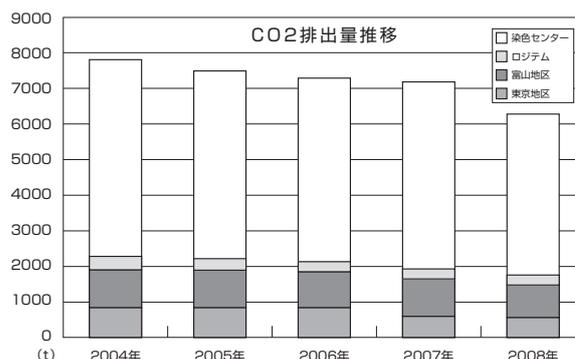
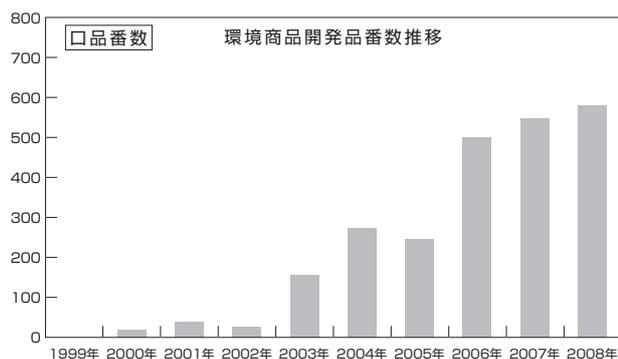
- 社員のひとりひとりが常に環境の保全を意識し、環境マネジメントシステム(EMS)を構築していきます。
- 環境を重視する「環境企業」を宣言することにより、環境保全への取組の強化を図ります。
- ISO14001 認証取得の企業体質を維持・強化させます。
- 環境を重視する企業同士の「グリーン調達」「グリーン取引」を推進します。

### RECYCLE

- ペットボトルや繊維製品などを再資源化し、新たな製品の原料として利用した商品の開発・生産をすすめていきます。
- オーガニック素材のように、身体に優しく地球(土壌)にも優しい素材を活かし、身につけることが楽しくなる商品を開発します。
- ユーカリ、竹、ヘンプなど成長が早い植物を原料とした繊維を使用したスポーツウエアの開発・生産をすすめていきます。これらの植物=原料は成長過程で光合成によりCO2を取り込み、環境との調和が図られます。
- 縫い糸、芯地、ネーム、ファスナーなどの使用に当たりリサイクルしやすいデザインの開発をしていきます。

### HEALTH & SPORTS

- スポーツイベントなどスポーツの現場で環境保全のアピールをしていきます。
- 汗を敵にまわさないテックアンダーウエアなど、スポーツ時の健康促進をはかる高機能製品を開発していきます。



担当者より：EMS事務局 長沢良樹



環境プログラム活動は、2008年度新しい中長期計画に基づき、より本業に密着したプログラムへシフトしました。省エネ、省資源活動は身体に染み付いてきましたが、今後は、環境配慮商品の開発・販売を中心に、業務の効率化によるCO2排出量の削減を図っていきます。全員参加で目標達成に向け頑張りましょう。

# 会社情報

■ 商号：株式会社ゴールドウイン  
GOLDWIN INC.

■ 設立：昭和26年12月22日

■ 資本金10,329百万円

■ 年商（連結）：44,056百万円

■ 年商（単独）：39,220百万円

■ 従業員：937名

（2009年3月31日現在）

■ 事業内容：

次の各種スポーツ用品の製造および販売

○アスレチックスタイル事業関連商品

トレーニングウェア、バスケットボールウェア、テニスウェア、ゴルフウェア、フィットネスウェア、スイムウェアおよび関連商品

○アウトドアスタイル事業関連商品

登山用ウェア、マリンウェア、キャンプ用品および関連商品

○アクティブスタイル事業関連商品

スキーウェア、スノーボードウェア、モーターバイクウェア、スポーツサイクルおよび関連商品

○その他

ハイテックウェア（防塵服）、OEMなど

■ 役員（2009年6月26日現在）：

取締役社長 西田 明男

取締役相談役 西田 東作

取締役 大江 伸治

取締役 斉藤 茂

取締役 中川 繁樹

取締役 二川 清人

取締役 渡辺 貴生

取締役 神成 一郎

常勤監査役 宮崎 剛

監査役 成戸 應之

監査役 奥村 勝亮

監査役 中川 定文

■ ホームページ：

<http://www.goldwin.co.jp/>

■ 本店

〒932-0112 富山県小矢部市清沢210

TEL 0766-61-4800(代)

FAX 0766-61-4809

■ 東京本社

〒150-8517 東京都渋谷区松涛2-20-6

TEL 03-3481-7201(代)

FAX 03-3481-7256

■ 大阪支店

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-4-30

ニッセイ新大阪ビル14F

TEL 06-4807-1700(代)

FAX 06-4807-1410

■ 札幌営業所

〒060-0807 北海道札幌市北区北7条西4-12

ニッセイMKビル10F

TEL 011-706-1971(代)

FAX 011-706-1974

■ 名古屋営業所

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-5-31

ジブラルタ生命名古屋錦ビル3F

TEL 052-955-6301(代)

FAX 052-955-6307

■ 北陸営業所

〒932-0112 富山県小矢部市清沢210

TEL 0766-61-4862

■ 福岡営業所

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-6-1

九勤筑紫通ビル4F

TEL 092-472-6041(代)

FAX 092-473-0138

■ 沖縄出張所

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-13-17 丸十ビル302号室

TEL 098-860-7161

■ 主なグループ会社：

株式会社ゴールドウインテクニカルセンター

株式会社カンタベリーオープンニュージランドジャパン

株式会社ゴールドウインロジテム

株式会社ゴールドウイントレーディング

株式会社ゴールドウインエンタープライズ

ゴールドウイン開発株式会社

株式会社ナナミカ

■ 海外ネットワーク：

ゴールドウインヨーロッパ GOLDWIN Europe S.r.l.

ゴールドウイン코리아 GOLDWIN KOREA Corporation

北京奥冠英有限公司 BEIJING GOLDWIN CO.,Ltd.

高得運(上海)服装貿易有限公司

SHANGHAI GOLDWIN CO.,LTD.